

四日市版コミュニティスクール報告書（平成30年度総括）

四日市市立 楠中学校

校長 田中 繁

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

四日市版コミュニティスクールの運営要項に基づき、保護者・地域住民の方が主体的に学校運営に参画し、本校の学校づくりビジョンの目標である「あたたかさ たくましさ たしかさ」の実現を図ります。

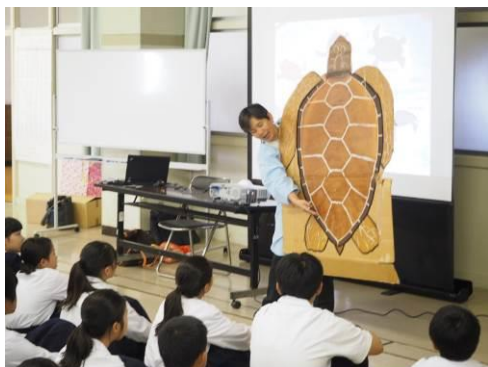
①生徒の実態を把握し協議を重ねる ②地域と学校教育活動の融合 ③生徒と地域との双方向性での関わりを深める の3つの視点で推進します。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

■「ウミガメのふるさと」吉崎海岸清掃

ウミガメ産卵地である地元、吉崎海岸のボランティア清掃はウミガメ保存会や楠地区まちづくり検討委員会等、地元の方の協力を得て、精力的に活動することができました。地元の方々によるウミガメの生態や自然環境を破壊する現実とその対策の講演をしていただいたのちに、吉崎海岸に出かけ清掃活動に励むことができました。



■老人クラブとの交流会

地域の老人クラブによるグラウンドゴルフ・昔の遊び・お話し会を実施することができました。早朝から準備をしていただいた、楠地区老人クラブの方々の指導・助言でグラウンドゴルフからスタート。異世代の格差を埋めるレクリエーションで一気に打ち解けたあとに、室内ゲームや昔の地域のお話しをしていただきました。高齢者も生徒もお互いに笑顔で、相互理解を深めることができました。



■ P T Aとの「花いっぱい運動」

環境美化運動を兼ねてP T Aと生徒有志による花壇づくりを行いました。P T A主催行事にボランティアとして参加する生徒が年々増えてきました。



(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

保護者や地域の方との連携で終わらず、地元を誇りに思い、活躍することができるグローバルな人材の育成にもつなげることができました。地域が有する歴史・文化・自然・人材等のネットワークが広がるとともに、学校が活用可能な教育資源を見つけることが運営協議会のひとつの役目であると思います。これにより、学校が多様な地域とネットワークを構築していくことで、地域が一体となって次代を担う子どもを育てる気運の醸成にもつながります。

地域の大人達が有する経験を多様な異世代交流を通じて次代に伝えるとともに、子ども達の学ぶ意欲、ふるさとを愛する心、地域の伝統文化を大切にする心などをはぐくむため、生徒と保護者・地域の方との多様なふれあいを確保するための場や機会を充実させることが重要です。

3 今後に向けて

地域の方々には、地域の担い手として町づくりに参画してほしいと願っています。今後、学校は生徒会を中心にボランティア活動を推進し地域の発展に貢献していきます。将来「楠中学校出身でよかった。」と誇れる人材の育成に向けて地域・家庭・学校が一体となり、子どもたちの健全育成に向けて、双方向や多角的な視点を大切にした協議ができる学校運営協議会を目指します。

別紙B

平成30年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立楠中学校

委員長 中川 照水

校長 田中 繁

月	協議会の開催	活 動 内 容
4		
5		
6	第1回CS運営協議会	<ul style="list-style-type: none"> ■市教育委員会より委嘱状交付 ■四日市版CSと運営協議会について ■学校づくりビジョンについて ■授業参観 ■年間計画等の検討
7		
8		
9	第2回CS運営協議会	<ul style="list-style-type: none"> ■体育祭参観 ■生徒の様子や学校運営の意見交換
10		
11	第3回CS運営協議会	<ul style="list-style-type: none"> ■文化祭参観 ■生徒の様子や学校運営の意見交換
11	第4回CS運営協議会	<ul style="list-style-type: none"> ■授業参観 ■これまでの活動に対する意見・評価 ■学校づくりビジョン中間見直し ■地域と生徒(学校)の関わりについて
12		
1		
2	第5回CS運営協議会	<ul style="list-style-type: none"> ■本年度の教育活動の総括 ■集計結果を基にした学校関係者評価 ■次年度への展望
3		